



大谷俊一 otani shunichi

東京生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科在学中に作品と環境を組み合わせる実験活動を行う。大学院修了後に沖縄に移住し「場所との関わり」の原点となる活動を経て、現在は主に「現地滞在型」の企画制作や国内外の個展グループ展多数発表。

- 2002「祖母の町…津山プラン 2002」つやま芸術祭【つやまーと大賞】(津山)
- 2006 / 2009「影 (ei) 来し方行く先」「奴奈川舎」越後妻有アートトリエンナーレ (新潟)
- 2010 - 2011「Here / 淡水区中正路 298 号」Art Renaissance in Tamsui (台北)
- 2012「亀甲庭」三隅神社社務所中庭プラン (島根)
- 2013「Here / 金沢市片町 2-2-5 Mar.4-15,2013」彫刻のコスモロジー (石川)
- 2014 アート・ブリッジ 1301「奥津プラン 2014 / ヲクツポイント」(鏡野)
- 2015 アートプロジェクトおかやま「奥津温泉 AIR ヲクツポイント 2015」(鏡野)
- 2016「西螺當代藝術季」(雲林縣 西螺鎮/台湾)

大谷俊一 アーティスト・イン・レジデンス

勝央町勝間田 / 鏡野町奥津

アートプロジェクトおかやま推進事業「アーティスト・イン・レジデンス」

岡山県とアートプロジェクトおかやま連携会議では、県内各地にアーティストを招き、地域に題材や素材を求め短期滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンス (=AIR) を実施します。今回、出雲街道宿場町の名残をとどめる勝間田地区と、多くの文人墨客を魅了した奥津温泉の2ヶ所に美術家大谷俊一が滞在し、地域の文化、自然、歴史、人との関わりの中で制作活動を展開し、アートの視点により地域の魅力を引き出し発信していきます。この秋は、二つの会場を巡って地域に根ざしたアートの表現を鑑賞いただくとともに、県北の豊かな風土と文化の魅力を感じてください。

勝央町 関連イベント

鏡野町 関連イベント



第5回 街道祭 ART IN SHOO

2016年9月10日(土)～9月11日(日)

町内外アーティストによるアートフリマやワークショップ、フード、スイーツなど盛りだくさん。

① 街道祭実行委員会事務局 0868-38-1753

② <http://kaidoumatsuri.jp>

奥津もみじ祭り

2016年10月29日(土)～11月13日(日)

奥津溪ライトアップや紅葉バス(シャトルバス)の運行など、多彩な催しがあります。

① 鏡野町観光協会 0868-52-0711

勝間田へのアクセス

車 勝央ICからR179を西へ5分、美作ICからR179を西へ10分、津山ICからR179を東へ20分
JR 姫新線勝間田駅下車北へ徒歩5分
高速バス 中国勝間田バス停下車南へ徒歩10分

奥津へのアクセス

車 院庄ICからR179を北へ25分
バス JR津山駅から中鉄バス(奥津温泉行/石越行)で奥津温泉下車(55分)



in 勝央町勝間田

in 鏡野町奥津

再会／共に表現する楽しみ

2016年9月10日(土)～9月19日(月・祝)

旧勝央町郷土美術館を中心とした勝間田エリア

ヲクツポイント 2016

2016年10月9日(日)～11月13日(日)

鏡野町奥津温泉街を中心とした奥津エリア

国内外でアートによる地域プロジェクトを数多く手がけてきた美術家 大谷俊一が、岡山県北の勝央町勝間田地区と鏡野町奥津地区で短期滞在制作を行い、地域の魅力を発信します。

私（旧勝田郡役所）の主な特徴は木造下見板貼り二階建て。正面玄関部にアーチを設け、上部の塔屋には急勾配の方形屋根を二段重ねです。その屋根は当初スレート葺きでしたが光沢のある金属板に吹き替えられました。その金属板を貼った屋根が日差しを受けると黄金に輝きます。遠くからも良く見えて青空にとても良く映えます。シンプルなデザインで大きな窓枠が多くあり、ガラスも昔のままのものがほとんどです。二階に上がる二つの階段も木造の芸術的な螺旋を描いた独特な構造です。実は、私（旧勝田郡役所）は岡山県下の旧郡役所として唯一の現存例なんです。

旧勝田郡役所から



再会／共に表現する楽しみ

勝間田

「始まりは勝田郡役所でした。」旧勝田郡役所は今、何を想う。

会期 2016年9月10日(土)～19日(月祝) (12日(月)は休館)

時間 10:00 - 15:00

会場 旧勝央町郷土美術館

(旧勝田郡役所・国登録有形文化財)

本展示は「街道祭」の一環として開催します。
詳細は、街道祭2016ウェブサイトにて
<http://kaidoumatsuri.jp>

必要とされてここに存在してから現在まで、様々な時代を生きてきた旧勝田郡役所(旧勝央町郷土美術館)は、使われなくなった今でもまだその微かな役割が消えた訳ではありません。百年を超える長い間、この建物がどのように時代を感じてきたか?今は何を想うのかを、そのままの姿を伝えようとする表現により建物の魅力と共に体感していただきたいと思います。

大谷俊一は、かつて旧勝央町郷土美術館で「場」をテーマにした展示を行った経験を踏まえ、今回の作品は、旧勝田郡役所(建物)との本格的なコラボレーションを行うという、ある意味で実験的な試みを行います。この活動を通して、作品を表現する「場所」ではなく、現存する「場所」そのものを表現することの重要性を「共に表現する楽しみ」として提示します。そのことが、この「場所」だけでなく「地域」を表現することに繋がり、現代社会全体に伝える活動となると確信しています。

関連企画

岡山県技師・江川三郎八と江川式建築
—岡山県の近代洋風建築の世界—

会期 2016年9月10日(土)～10月10日(月祝)

会場 勝央美術文学館 町民ギャラリー

会津藩士の家に生まれ、福島・岡山両県で建築設計に腕を振った技師・江川三郎八(1860～1939)。本展では、勝央町域の築100年あまりとなる勝田郡役所(旧勝央町郷土美術館)をはじめ、江川が関係した諸建築とその特徴を、古写真や実測図のパネル、模型など各種資料でご紹介します。

ラクツポイント 2016

2016年10月9日(日)～11月13日(日)
奥津温泉街を中心とした奥津地区一帯

大谷俊一が鏡野町奥津地区に滞在し、そこで感じる自身の体験と地域を構成する景観、建物、風習、人々の記憶や記録などから歴史や文化を読み解き、目立つことなく埋もれていた特質を物語る場所を「ラクツポイント」と位置付け、その存在を呼び覚ます行為を作品として提示します。また、貴重な資料展示やプロジェクトにあわせた内外の連携活動、老舗温泉旅館の特別入浴パス等の湯巡り体験などを実施します。魅力ある各ラクツポイントを自由に巡ってください。



主なラクツポイントを示しています。
詳細は、ラクツポイント2016チラシまたはアートプロジェクトおかやまホームページにて
<http://apo8092.jp/>

旧明王寺
不動産(鏡野町有形文化財并財天像)公開



旧武本名産店
インフォメーション
(土・日・祝 10:00～17:00)

廣岡邸
廣岡邸公開
一日限定「広岡邸 cafe」の開催

旧河鹿園
期間限定の特別入浴
旧河鹿園従業員宿舍等で実験活動を実施

美湯神社跡
旧河鹿園の中庭にある、「湯大明神」として温泉の守り神がまつられていた神社の跡(石碑あり)

旧町民風呂
奥津温泉の原点として当時の日常の記憶を表現

東和楼
映像作品の上映、特別入浴



鏡野町文化資源保存伝習館
「木工ワークショップ」
11月5日(土)、6日(日)
講師:木口秀一ほか
*詳細は別途にて



旧奥津町商工会館
(鏡野町商工会奥津支所)
津山東高等学校旧苫田分校資料展示
津山東高等学校生徒作品展示

「ラクツポイント」は、奥津温泉街やその周辺地域で2014年から継続して取り組んでいるもので、それまで当たり前存在していた場所が、今までの活動により「魅力あるポイント」だということが明確になってきました。それは、地域から忘れられ本来の役目を果たせずに沈黙し姿を変え自ら消えようとする魅力が、時代のズレを呼び覚ます行為によって関わりを持ち続けられれば必ず蘇り新たに化する状況を実際に体感したからです。

今回も、「ラクツポイント」には「ヲ」をシンボルマークとした木製フラッグ(1347年、地名奥津を初めて表す古文書の記述「ヲクツ」から「ヲ」を表象として制作)を設置し、その数ヶ所には場所の特質を表現するための仕掛けや装置を制作します。来場者が「ラクツポイント」を巡ることで、残された日常の道具や施設、何気ない風景から異なった発見があると同時に、奥津地区の本質を再認識することができます。そのことが、地域が本来持っている魅力を改めて見直す活動の契機になっていくでしょう。

浮島(奥津湖)
苫田ダム水上周遊体験等

苫田ダム転流工
ダムをつくるときに川の水を迂回させたトンネル内部見学、光や音による実験活動、探検ツアー、苫田ダムライトアップ等を実施

